

6. 高瀬中学校2年生の皆さんが校外学習に来てくれました

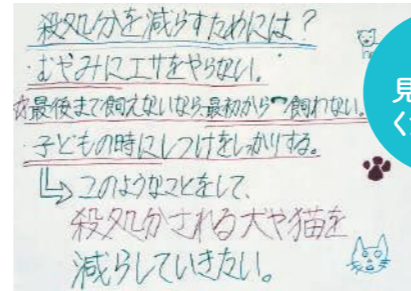
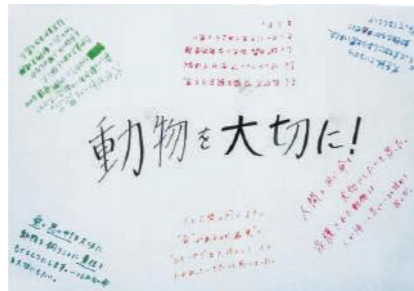
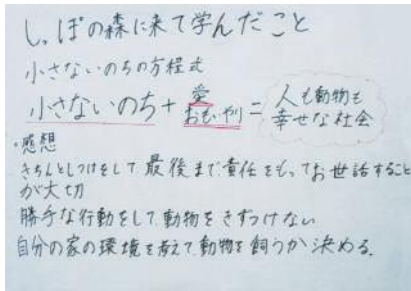
4月16日(金)に高瀬中学校2年生の生徒さんが校外学習として、しっぽの森を訪れました。

生徒の皆さんはセンター職員による動物愛護に関する講習に真剣に耳を傾け、施設見学や収容動物との触れ合いに積極的に参加しました!!



最後は、グループに分かれて「人と動物の共生のために私たちにできること」について、話し合い、発表をしてもらいました。

しっぽの森では、高瀬中学校の皆さんが一生懸命考え、作成した「私たちにできること」を掲示しています。



ぜひ、見に来てください。

※令和3年8月末まで掲示予定



しっぽの森インスタグラムのご紹介



しっぽの森では、インスタグラムで譲渡動物やイベントなどの情報を発信しています。

しっぽの森でトレーニングを頑張る犬や、ふれあいルームでくつろぐ猫、イベント開催の様子など、様々な写真と共に、しっぽの森の様子をお伝えしています。

@sanuki_shipponomori



是非一度、インスタグラム「しっぽの森_さぬき動物愛護センター」をご覧ください。



さぬき動物愛護センター
キャラクター: アイゴン



1. 令和2年度の振り返り
2. 犬や猫にワクチンを!
3. フィラリア症、ノミ・ダニ予防について
4. 譲渡ボランティア活動報告
5. 新しい家族を迎えて
～しっぽの森から譲渡した犬や猫たち～
6. 高瀬中学校2年生の皆さんが校外学習に来てくれました

1. 令和2年度の振り返り

令和2年度の取り組み

人と動物が共生する社会を目標に動物愛護管理に関する普及啓発や犬猫の適正な譲渡推進に取り組みました。

- ・譲渡前講習会・譲渡会(毎週水曜日午後、日曜日午前)
- ・しっぽの森通信発行(7月、11月、3月)
- ・動物愛護フェスティバル(9月)
- ・動物愛護ボランティア養成講座(7月、9月、1月、2月)
- ・譲渡者への不妊去勢手術費用の補助
- ・登録譲渡ボランティアへの譲渡動物の診療費用の補助等

		令和元年度	令和2年度	増減
令和2年度の収容数・譲渡数	犬	収容数 2,219	1,829	▼390
		譲渡数 1,189	1,170	▼19
猫	収容数	981	834	▼147
	譲渡数	512	498	▼14

※令和2年度は速報値

コロナ禍にもかかわらず、多くの方のご利用と譲渡ボランティアの方々のご協力により、譲渡数は前年度並みを維持しています。また、しっぽの森開所前の平成30年度の譲渡数と比べて約1.4倍に増加しています。

香川県の状況

犬の収容数は減少傾向にあるものの、依然として全国で1番多い状況です。これは、本県の温暖な気候に加え、かわいそうだからと無責任に餌を与えるだけの行為が、結果として不幸な犬猫を増やすことにつながっていることによるものです。

これからの活動

このような不幸な犬猫を減らすためにしっぽの森では、今年度も新型コロナウイルスの感染対策を行った上で動物愛護管理及び適正飼養についての普及啓発を目的としたパネル展示や動物愛護教室といったイベントを実施する予定です。

今年で開所3年目を迎えるしっぽの森では、これまでの取り組みを加速させ、より一層適正な譲渡や飼養管理の啓発に努め、人と動物との調和のとれた共生社会づくりに取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



2. 犬や猫にワクチンを!

狂犬病のワクチン

人と犬を守る
ワクチン!!

今でも世界では、狂犬病で毎年5万人以上の方が亡くなっています。日本でも、いつ、狂犬病が流行するかわかりません。人と犬を守るためにも、生後90日を経過した犬には、登録(一生に一度)と狂犬病の予防注射(年一回)を忘れずをお願いします。

混合ワクチン

犬や猫を守る
ワクチン!!

犬同士・猫同士でうつる病気は、ワクチンで防ぐことができます。「室内で飼っているから」とか「他の子と遊ばないから」大丈夫!ではありません。病原体のウイルス等は、空気中に漂っているものもあり、お散歩中の犬にくっついたり、飼い主さんが持ち帰って感染することもあります。

●予防できる病気



- ・犬ジステンパー
- ・犬伝染性肝炎
- ・犬アデノウイルス感染症
- ・犬パルボウイルス感染症
- ・犬パラインフルエンザウイルス感染症
- ・犬レプトスピラ症(2型あり)
- ・犬コロナウイルス感染症



- ・猫ウイルス性鼻気管炎
- ・猫カリシウイルス感染症
- ・猫汎白血球減少症
- ・猫白血病ウイルス感染症
- ・猫クラミジア感染症

●ワクチンの接種時期(例)



子犬・子猫の時期は、お母さんからもらった免疫があるため、成長に合わせて何度か接種する必要があります。その後は、ワクチン免疫が途切れないように、年に1回、忘れず接種しましょう。

3. フィラリア症、ノミ・ダニ予防について

! フィラリア症(犬糸状虫症)に注意!

フィラリアとは

フィラリアは蚊を介して犬(ときに猫)に感染する寄生虫です。フィラリアの感染は、定期的に薬を投与することで確実に防ぐことができますが、予防対策を怠ると、感染→発症して、最悪の場合は死に至る恐ろしい病気です!蚊が発生する時期(5月~12月)には、飼い犬をフィラリア症から守るために、お薬の投与を忘れずに!



フィラリアに罹患すると心臓に虫がたまります。



その結果

- ・セキができる
 - ・呼吸が苦しそう
 - ・食欲がない
 - ・尿が赤くなる
- といった症状がみられます。

! ノミ・ダニ(マダニ)に注意!

ノミやダニとは

ノミやダニは、犬や猫の体の表面にくっついて血を吸うだけでなく、かゆみを伴う皮膚炎や感染症の原因を運ぶ外部寄生虫です。また、犬や猫にくっついたノミやダニは、人にもうつることがあります。駆虫薬を使って継続的に予防しましょう。

※マダニが原因となり、人に感染症を引き起こす、恐ろしい病気に

SFTS(重症熱性血小板減少症候群)があります。

高熱が続くなどの症状があり最悪の場合は死に至ることもあります。

人がSFTSに感染しないためにも、犬猫のマダニの予防をしっかりしてください。



4. 譲渡ボランティア活動報告

このコーナーでは、譲渡ボランティアの活動を紹介します。今回はセカンドライフ香川さんにお話を聞きました。

私たち、セカンドライフ香川は、こどもの頃から動物が大好きな仲間が集まっています。

そんななか、香川県の現状を知って自分たちに何かできることはないか、と考えて活動をはじめました。

活動内容

さぬき動物愛護センターしっぽの森から犬や猫を引き取り、新しい飼い主へ譲渡しています。そのほか、多頭飼育崩壊の現場から保護する活動や、猫に困っている地域の方々と協力して、地域猫活動の一つであるTNR(*)活動も行っています。

預かっていた犬や猫が、新しい家族のもとに迎え入れられた時には、離れる寂しさと同時に感動もあり、この活動をしてよかったな...と本当に思います(涙)

*TNR(Trap Neuter Return):捕獲→不妊去勢手術→元の場所に戻すことで、1代限りの一生を全うする取組。

●譲渡会を行っています!

はるひな動物病院(観音寺市)

スカイフレンドパーク新館(三豊市)(毎月・第2日曜日) [詳細はこちら](#)



MIRAIFU12

●メッセージ!

さぬき動物愛護センターしっぽの森からは、特に、成犬や性格が臆病そうな子など譲渡が難しいと思われる子を中心に引き取っています。どんな子でも、時間をかけてゆっくり見てあげると家族にとって生涯の良きパートナーになってくれます!さぬき動物愛護センターしっぽの森の成犬たちも新しい出会いを待っています!ぜひ、家族として迎えていただくよう、よろしくお祈りします!



譲渡 ボランティア って?

しっぽの森から犬・猫を譲り受け、人なれや、健康管理を行って新しい家族探しを手伝ってくださっている人たち。「譲渡ボランティアをやりたい」、「自分の家庭環境や住宅で、譲渡ボランティア活動ができるだろうか?」など、気になることがある方は、是非一度しっぽの森までお問い合わせください。

5. 新しい家族を迎えて ~しっぽの森から譲渡した犬や猫たち~

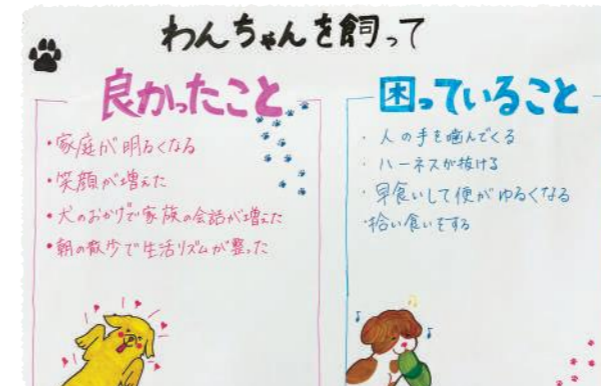
しっぽの森卒業生の新しい暮らしを紹介します。今回は、去年10月から今年3月の間にセンターから保護犬の譲渡を受けた飼い主さんとわんちゃんを対象に開催した「犬の同窓会」の様子をお伝えします。

●グループトーク

保護犬を迎えて良かったこと、困ったことについて、飼い主さん同士で活発に意見交換をしてもらいました!!

●飼い犬同士のふれあい

当日はあいにくの雨のためドッグランではなく、屋内及び屋外サークルでのふれあいとなりました。それでも、仲良くしようと頑張る子、ちょっと臆病で飼い主さんから離れない子など、個性豊かな犬たちが集まりました。



同窓会では、職員から県内の犬猫を取り巻く現状及び災害時の避難への備えについて伝え、地域の見本となる飼養者になっていただくよう、改めてお願いしました。

